

大会プログラム

1日目（7月7日^土）午後

14:00～

開会式

14:10～15:10 特別講演Ⅰ：

座長：出江 紳一 氏（東北大学大学院医工学研究科
リハビリテーション医工学分野教授）

「宮城の地域リハビリテーションの歩みを振り返り、これからを考える」

講師：佐直 信彦 氏（仙台青葉学院短期大学 副学長 教授）

15:10～15:20 休憩

15:20～16:40 シンポジウムⅠ：

「震災復興支援から地域包括ケアへの展開—地域づくり・まちづくり—」

座長：渡邊 好孝 氏（宮城県リハビリテーション専門職協会会長）

急性期から復興期に至る災害リハビリテーション医療支援：

東日本大震災の経験より

講師：成田 徳雄 氏（気仙沼市立病院 脳神経外科医師）

講師：伊勢 弘幸（宮城県保健福祉部障害福祉課 主幹(班長)）

東松島市における震災復興支援から地域包括ケアへの展開

—地域づくり・まちづくり—

講師：小野 剛広 氏（医療法人医徳会真壁病院）

震災復興支援から地域包括ケアへの展開 —かかわり・つながり—

講師：三浦 ひとみ 氏（女川町役場 保健師）

17:30～19:30 懇親会

～～懇親会場のご案内～

会 場 キリンピアポート仙台（仙台市宮城野区港2-2-1）

送迎バス 東北歴史博物館 駐車場を17時10分に出発予定です。

懇親会後はJR中野栄駅にお送りします。

（事前参加登録時申込）

9:30

開場

9:45~11:05

シンポジウムⅡ:

「介護予防事業の取組とリハ専門職の役割」

座長：柳 尚夫 氏（兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所長）

座長：大塚 英樹 氏（医療法人社団東北福祉会

せんだんの丘ぴらすあらい 作業療法士）

「ダンベル体操」に取り組んで

講師：佐藤 利 氏（もみの木ダンベルサークル サポーター）

地域が元気になる介護予防（健康づくり）の取り組み

講師：伊藤 真紀 氏（大崎市民生部健康推進課 保健師）

介護予防事業への理学療法士としての関わり方

講師：芝崎 淳 氏（社会医療法人将道会 総合南東北病院 理学療法士）

11:10~12:30 シンポジウムⅢ:

「障害者の自立支援を支えている医療機関の取組」

座長：瀬田 拓 氏（みやぎ県南中核病院 リハビリテーション科医師）

脳卒中、頭部外傷者の自動車運転再開支援の取り組みについて

講師：中川 大介 氏（医療法人社団脳健会

仙台リハビリテーション病院 言語聴覚士）

子育て支援としての小児在宅医療～うまれてきてよかったと思える社会作り～

講師：田中 総一郎 氏（医療法人財団はるたか会

あおぞら診療所まっこり仙台 小児科医師）

脳卒中片麻痺者の地域参加のために

早期からの歩行再建を目的とした急性期での取組

講師：神 将文 氏（一般財団法人広南病院 理学療法士）

福祉と医療の架け橋になる障害者クリニック

講師：西嶋 一智（宮城県リハビリテーション支援センター

リハビリテーション科医師）

12:30~13:30 休憩

【一般公開講座】

13：30～14：30 特別講演Ⅱ：

座長：樫本 修（全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ
2018 大会長）

「高齢者主体の地域包括ケアシステムから障害児・者を含めた発展へ」

講師：吉永 勝訓 氏（千葉県千葉リハビリテーションセンター長）

【宮城県主催 地域リハビリテーションスタッフ研修会】

14：40～16：00 シンポジウムⅣ：

「地域共生社会の実現に向けた障害児・者支援」

座長：阿部 一彦 氏（東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授）

共生社会の形成に向けた障害理解教育を考える

講師：三科 聡子 氏（国立大学法人宮城教育大学特別支援教育講座）

障がい児の自立に向けて

講師：高橋 繁夫 氏（認定NPO法人 さわおとの森 副理事長）

精神に障害のある人も地域で安心して暮らせるために

講師：姉齒 純子 氏（医療法人財団姉齒松風会
なごみの里サポートセンター統括施設長）

ひとりの人間を大切にす援助から

講師：笠松 剛士 氏（社会福祉法人 白石陽光園 社会福祉士）

16：00～

閉会式

【関係会議日程】（1階 会議室）

7月7日（土）

12：05～13：00 全国地域リハビリテーション研究会 世話人会

13：00～14：00 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事会

7月8日（日）

12：35～13：00 全国地域リハビリテーション研究会 世話人会 総会

13：00～13：25 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 総会

